

指定都市・中核市・特例市の連携について

1 シンポジウム

住民に最も身近な基礎自治体であり、各圏域の中核都市である指定都市・中核市・特例市の市長の代表が一堂に会し、大都市が連携して地方分権改革を更に積極的に推進するためのシンポジウムを開催する。

テーマ 地方分権の確立に向けて PartⅡ～連携の深化と人材育成を考える～
日時 平成25年11月5日（火）13：30～
場所 時事通信ホール（東京都中央区銀座5－15－8 時事通信ビル2階）
主催 指定都市市長会、中核市市長会、全国特例市市長会
後援 全国市長会、(株)時事通信社

内容・構成 ① 基調講演 「地方分権で求められる連携・人材」（仮題）
講師：北川 正恭 氏（早稲田大学大学院教授）
② パネルディスカッション
パネリスト：指定都市市長、中核市市長、特例市市長、
北川 正恭 氏（早稲田大学大学院教授）
モデレーター：明石 道夫 氏（時事通信社解説委員）

2 リレーコラム

シンポジウム開催までの間、機運を醸成するために「市長が語る『地方分権と都市の役割 PartⅡ』」と題し、指定都市・中核市・特例市の市長によるコラムを、時事通信社「iJAMP」に8月19日（月）から連載する。

3 職員勉強会

指定都市・中核市・特例市の実務担当者を対象とした勉強会を開催し、自ら大都市制度の改革に取り組み、国に提案できる職員の育成を目指す。今年度は3回程度を予定しており、第1回は8月に東京で開催する。